

明治大学 2021 年度【夏期】国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250～300 字程度)

このプログラムでは、ベトナムの文化・歴史、経済、社会、国際関係、ベトナム語を学びました。ベトナムがどのような国であるか全く知らなかったため、ベトナムの基本的な知識を身につけることができよかったです。中でも「ドイモイ政策」はどの授業でも取り上げられるキーワードで、ドイモイ政策の以前・以後でどのようにベトナムが変わったかということがベトナムにとって重要だと分かりました。またどの授業でも日本と比較して考えることが多く、自国と他国の違いや共通点を考えるのは、異文化理解ということも含め面白かったです。

バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250～300 字程度)

計 4 回、各 2 時間の現地学生との交流がありました。おすすめの観光地やアニメ・マンガといったテーマについて、ベトナム国家大学と明治大学の学生がそれぞれプレゼンテーションを行い、その後グループに分かれて関連するテーマについてディスカッションをし、クラス全体で意見を共有するという流れで進んでいきました。ベトナム国家大学の学生は明治大学の学生をとて温かく迎えてくださって、発言しやすい環境も整えてくださり、とても有意義な時間を過ごすことができました。特にアニメ・マンガがテーマのときは、ベトナムの学生もアニメ・マンガが好きな学生が多く、日本人より詳しい学生もたくさんいて非常に盛り上がりました。違う文化やバックグラウンドがあっても、同じ文化の魅力について語ることはとても楽しかったです。

オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250～300 字程度)

オンラインプログラムについて、大きなデメリットは感じませんでした。オンラインでは手軽に多くの人と繋がりがもて、費用も抑えることができるなど多くのメリットがあります。また授業の質もそのまま、深い学びができてよかったです。強いて言えばオンラインの場合、多少のラグがありディスカッションのときに少しやりづらく感じることはありました。しかし、それもチャットボックスを使用するなどしてカバーできたと思います。「対面でできたらもっと楽しいだろうな」と思いますが、オンラインであるゆえのメリットも多くあるので、オンラインプログラムという選択肢はこれからも必要だと思います。

今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250～300 字程度)

今回のプログラムを通して、積極性・主体性が身についたと感じています。教授に質問したり、クラスメートや現地の学生とディスカッションをする中で、自身で主体性を持って発言する、行動すれば学びがより充実するものになると分かりました。これまで明治大学ではプレゼンテーションやディスカッションなど実践的な学びを経験してこなかったため、良い経験になりました。自分の意見をどんどん相手に発信していくことが重要だと知ることができたので、これからも明治大学で積極的に授業や他の活動に参加していこうと思います。

【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします(学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません)。

明治大学 2021 年度【夏期】国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)

プログラムでは主にベトナムの経済、社会、文化、歴史、言語について学んだ。また、ベトナム国内の概要だけでなく国際経済、グローバル化についても学んだ。

本プログラムを通しての自身の学習成果は授業内容に関する点で二点、プログラムの付属的な要素で一点ある。授業内容に関する点では、ベトナムの内実について正しく知り、私自身が持っていたベトナムに対するイメージとのギャップが埋められた点、ベトナムの概要を通して世界経済や国際問題など、世界規模の事象について学び、自分なりの考えを持つことができた点だ。また、プログラムの付属的な要素では、全講義英語で行われたために、英語の実技的なスキルが身についた点が挙げられる。

バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)

現地の学生とは4度交流の機会があった。授業ではベトナムの伝統的な文化を中心に学ぶことが多かったが、現地の学生との交流では若者文化や日本とベトナム共通で流行している海外の文化について知る機会が多かった。授業の発表ではあらかじめ自分たちで原稿を考えて英語で発表していたが、学生とのディスカッションやプレゼンテーションは準備なしで行わなければいけなかったため、とっさの英語力が鍛えられた。さらに、ベトナムの学生は積極的に発言をしていた。特に今回はオンラインでのアクティビティだったため、自分から進んで発言する必要に迫られ、経験を得られた。

オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250~300 字程度)

オンラインプログラムにおける最大のメリットは気軽さだ。オンラインでは家にいるままプログラムを受けることができる。私自身、実際に現地に赴く場合は金銭面の問題もあり、プログラムに参加できなかったかもしれない。また、授業時間以外で仲間と会話することがなく、程よい距離感を保ちながらプログラムに参加できる。そのため失敗してしまう恥ずかしさがオンラインの場合若干薄まり、なんにでもチャレンジしやすかったように思う。しかし、裏を返せばこれはプログラムに参加した仲間たちと仲良くなりにくいというデメリットにもなる。

ほかのデメリットとして、双方のインターネット環境の問題で授業が途中で止まってしまうことや、対面に比べてコミュニケーションがとりづらいということがある。

今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)

プログラム参加前から長期留学をしたいという思いが強く、もともと東南アジア地域に興味を持っていたこともあり、今回のプログラム参加も留学のためのステップアップになればという気持ちで参加した。

プログラム参加後、今後の学生生活の目標について、以前は留学するにはただがむしゃらに文法、語彙力を身に付けようと思っていたが、英語での授業、交流を通じて自分に足りないのは英語でコミュニケーションをとる力だと発見したため、外国人との交流会に参加するなど、英語を使うことでそこを鍛えていこうと思う。また、何事にも積極的な姿勢を持つことはコミュニケーションなど、どのような場面でも重要になるとプログラム参加を通して学んだため、そのことも目標にしていきたい。

【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします(学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません)。

明治大学 2021 年度【夏期】国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)

本プログラムを通して、ベトナムについて、社会、経済、歴史、文化、国際関係、言語の分野から多角的に学び、総合的な理解を深めることができました。基礎から専門的な内容まで幅広く扱い、毎回の授業で新たな発見がありました。社会では時代ごとの人々の生活や、現代の生活スタイルやトレンドについて学びました。経済ではドイモイが社会に与えた影響、さらに、経済の種類や特徴について学びました。歴史と文化ではエスニックグループや宗教的文化、現代の文化の変容について学びました。国際関係ではグローバル化の定義や特徴、事例について話し合いました。ベトナム語では母音、子音、声調の発音練習や自己紹介の言葉を学びました。

バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)

私にとって一番大きな経験は、ベトナムの学生の友達ができたことです。交流会の合間に Instagram 交換をし、プログラム終了後も英語で連絡を取り合っています。現在は新型コロナウイルス感染症の対応など、社会の状況について意見交換をしています。この経験を通してさらにベトナムについて学びたいという気持ちが増しました。また、現地の学生との交流会を通して、「アニメは日本が誇るポップカルチャー」という意味を初めて実感することができました。彼らのほとんどが日本のアニメを見て育ったとのことで、コナンやドラえもんなどの話で盛り上がったことが印象的でした。私よりも現地の学生のほうが日本のアニメに詳しくだったため、日本のポップカルチャーを見つめ直す機会となりました。

オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250~300 字程度)

私が感じたメリットは2つあります。1つ目は他の予定と両立できたことです。就職活動など忙しい日々を送っていましたが、日本で受講できたため、2週間のプログラムに参加することができました。2つ目は費用です。渡航料金や宿泊費用などが全く掛からず、研修費も良心的であったため、金銭的な面からも参加しやすかったです。私が感じたデメリットは2つあります。1つ目は距離感の遠さです。オンラインではすべての方の顔が見える半面、教授とも現地の学生とも一対一で話す機会がなかったため、物足りなさを感じました。2つ目は現地や現地校の雰囲気が視覚的に感じられなかったことです。

今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)

今後の展望としては、東南アジアのトレンドや情勢についてアンテナを張り、テレビでは取り上げられない東南アジアのニュースを積極的に収集していきたいです。率直に、プログラム参加前に比べてベトナムへの関心が高まりましたし、東南アジア諸国の比較をしてみたいと思うようになりました。また、東南アジアと日本との関わりについても調べていきたいです。今後の目標は、英語力の強化です。英語で自分の意見を述べることの難しさを改めて実感したので、今回の経験をばねにして、スピーキングの練習を日頃からしていきたいと思います。

【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします(学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません)。

明治大学 2021 年度【夏期】国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250～300 字程度)

今回のプログラムは、5つの科目の授業と、週に2回の現地の学生との交流で主に構成されていました。科目名はそれぞれ「ベトナムの言語と会話」、「国際関係」、「経済」、「歴史と文化」、「社会」でした。「ベトナムの大学の授業だからベトナムのことだけを学ぶ」ということではなく、日本や他のアジア諸国との比較や、グローバルな視点で考えることを繰り返しながら授業は進められました。どの科目も、授業中と授業後を通してインプットとアウトプットを交互に行うことができ、短期間で幅広い知識を吸収することができました。ベトナムのことはもちろん、世界の状況をより把握することができたと感じています。

バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250～300 字程度)

今回交流した IEC (サークル) の方々は、とても積極的で、いつも寛容に接してくれました。各2時間の交流だったのですが、私たちとともに楽しく、充実した時間を過ごせるような配慮をしてくれたように感じました。私は最初の方はかなり緊張してしまい、あちらが話しかけてくれてもすぐに返答できないことが何度ありました。しかし、こちらの意図をくみ取るうとしてくれたり、Zoom のチャット機能や反応ボタンでたくさんリアクションしてくれたり、IEC の方々は常に「受け入れてくれる姿勢」を示してくれました。このことにより、私は安心してコミュニケーションをとろうとすることができたので、「相手を受容する姿勢」こそが国際交流において重要なのだと気づきました。

オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250～300 字程度)

メリットとしては、「気軽に応募、参加できること」だと思います。家で授業を受けられたので、スケジュールが組みやすく、自習の時間も確保しやすかったです。また、オンラインだからこそ、対面よりもコミュニケーションのハードルが下がったように感じました。直接顔を合わせる方が、先生や他の学生ともっと早く打ち解けられたとは思いますが、対面ならではのコミュニケーションに対する緊張はなかったのも、「とりあえず発言してみよう」と思うことができました。デメリットは、先生からの授業連絡が基本メールだったので、それが上手く行かなかった時に苦労するということでした。そしてやはり、お互い打ち解けるのに時間がかかるということでした。

今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250～300 字程度)

プログラムの参加を通して最も学んだことは、「質問することの大切さ」でした。今回のプログラムでは、授業中何度も「質問はありますか？」と聞かれました。日本の授業でもありますが、ここまで「生徒から質問があることが前提」というスタイルが徹底された授業は初めてでした。質問を求められることを想定して授業を聞くようになると、自然と集中するし、授業内容を頭の中で整理しようとするので、非常に効果的でした。また、IEC の方々の「相手を受容する姿勢」も、初対面の人や、異なる文化的背景をもつ人と交流する上でとても大切であることを学びました。この2つの「姿勢」を、あらゆる「話を聞く機会」や「他者と交流する機会」で実践したいと思います。

【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします(学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません)。

明治大学 2021 年度【夏期】国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250～300 字程度)

本研修での学びの一つにベトナムの社会主義志向経済があります。1985 年以降、貿易や海外企業の進出が認められ、また民間の経済部門が発展し、内外に開かれた経済となりました。多様なセクターが活動するマルチセクター経済で、世界市場に統合されている点は、資本主義における市場経済と同じであるが、異なるのはそれが社会主義を構築するという意味を持つ点です。しかし、まだ完全なる社会主義国ではないために、社会主義「志向」経済なのです。

そして、「ベトナムから見た日本」を知りました。例えば、「日本企業といえばトヨタ」という印象でしたが、実はバイクが主流のベトナムではホンダが馴染み深いのです。

こうして海外を学ぶことは、広い視野を持って多角的に物事を見る為に重要であると感じています

バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250～300 字程度)

現地の学生との交流会で、ベトナムの棚田と日本の棚田の写真を並べ、それぞれどの写真がどの国のものかを問うクイズがありました。その時は、直感で答えを当てることができたけれど、実際にどこが違っているのかは全くわかりませんでした。しかし、それぞれに特有の性質があるのではないかと、もしそれを理解することができたら面白そう、と興味を持ちました。また、私は発展途上国では日本のような先進国に比べて棚田に対する評価が低いと考えていたが、ベトナムでも棚田は、その価値が認められ、国家遺産として保全されていることを学生のプレゼンテーションを通じて知ることができました。外国の諸事情は、刻一刻と変わっていくものでもあるので、机上の空論にならないように、現地の方との接触をもって理解することが必要であると思いました。

オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250～300 字程度)

現地を訪れるわけではないので、金銭的にも精神的にもハードルが低いことが私にとってのメリットでした。参加費用は数万円程度で、留学奨励金の制度を利用することでさらに安くなり、幸いお金の工面には苦勞せず参加の決心をできました。また、海外渡航経験がない私には、今後参加を検討している海外でのプロジェクトへのステップにとっても最適でした。しかし、オンライン特有の、意思疎通に関する不都合もありました。同じ空間で面と向かって、という形ではないため、自分の発言を聞き間違えて先生が話を進めていますしまっている時に、指摘しようとしても気付いてもらえなかったり、話を遮るタイミングが取りづらかったりしました。

今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250～300 字程度)

ベトナムでは農林水産業セクターの総生産高が増加してきたが品質の改善が追いついていません。食中毒の増加や、生野菜で基準値を超えた残留農薬が検出されるなど、食品の安全性の問題が深刻なのです。一方、日本では、ここ数十年で食中毒の発生件数は激減しています。産卵鶏へのワクチン投与やコールドチェーンの確立などが削減に貢献したと考えられます。私は、日本がそのような食品管理の技術でベトナムに貢献できるのではないかと、新たな可能性を感じました。研修参加前に、日本の農と食における問題解決や発展の手がかりになるだろう、とベトナムの現状から日本を相対評価する目標を立てたが、本研修でこの目標に接近できた例は他にもありました。今後も海外の事象に目を向けて自分の考えを深めていきたいです。

【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします(学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません)。

明治大学 2021 年度【夏期】国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250～300 字程度)

今回の研修を通して得た成果として、ベトナムという一つの国を経済や歴史、文化など様々な側面から現地の人とともに学びました。例えば、ベトナムが外国の干渉にあった際には良い面をどんどん受け入れるということが昔からあったため今の社会や文化にも外の者に対して柔軟であると学びました。ネットや本だけでは分からない、現地の人の目線から学べたことがうれしかったです。

加えて、英語の良しあしではなく、伝えようとする内容が重要であることや、他の学生が英語に困っていたら助けて協力体制をとるなど、勉強の姿勢や他の学生とのかかわり方など学生生活だけでなく社会でも役に立つことが学びました。

バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250～300 字程度)

授業以外の活動において、現地生の柔軟な態度や寛容さに触れました。具体的には、ディスカッションの際に明治の学生が言った意見がテーマと少しずれていることであったり、すでに出てきた意見と似ていたとしても、否定的なことを言わずにいったん聞き入れて「今回のテーマは〇〇だから、〇〇にフォーカスしよう」とか、「すでに出てきた意見に似ているからそこに付け加えるね」などポジティブな方向で反応を示してくれていました。そのような反応だったからこそ、ズームであってもベトナム人日本人関係なく意見を自由に出しあえる雰囲気になっていたのも、自分と違うバックグラウンドの人と交流するときは相手を受け入れることを大切にしようと思える経験でした。

オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250～300 字程度)

メリットとしては、2 点あります。1 点目は勉強に集中できることです。環境も変わらずなく、新しい友達ができても遊ぶということもないので、プログラム中のエッセイやプレゼンテーションなどの課題に充分時間を割くことができるため勉強に集中できることがメリットだと思います。2 点目は英語での会話についていきやすいことです。対面で話す時より、会話のテンポが遅い気がしました。誰かが喋り終えてから喋るというタイミングがオンラインにはあったため、発言の機会を見失わずに会話しやすいところがメリットだと感じました。デメリットとしては、実留学に比べて苦勞する部分がないので、留学したときに味わう達成感が少ないところです。

今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250～300 字程度)

プログラム参加前は学んだことを活かし、ベトナムやその他 ASEAN 地域へ進出する日系企業で現地の人の利益を考えながら仕事をしたいと漠然とした展望を持っていました。ですが、プログラムに参加してからは、その展望に対してより具体的な目標を持つようになりました。まずは、ASEAN とひとくくりにしてもそれぞれの国は一つ一つ特徴が違うということを今回のプログラムで学んだので、引き続き一つ一つの国に対する学びを継続することです。そして、現地の人々の利益になるようなことというのただ支援をするだけではなく、自走できるようなことをするのが大切だと知ったので、企業以外の手段も考えてみようと思いました。

【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします（学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません）。

明治大学 2021 年度【夏期】国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)

今回のプログラムを通して、ベトナムの歴史、文化、経済、社会全般について学ぶことができ、簡単なベトナム語やグローバル教育について学ぶこともできました。歴史や文化については 1 から教わることができ、気になったことはすぐに質問ができるため日本と比較してベトナム独自の文化について考える良い機会になりました。宗教観については日本とかなり近いため、とても興味深かったです。また、経済に関しても経済学に詳しくない学生でもわかりやすい授業になっていましたが、積極的な理解が求められます。プレゼンやレポートが多く課されるため授業以外の時間はすべて費やすほど大変でしたが、ベトナムについての理解は二週間という短い期間でも深まったと思います。

バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)

プログラム中に日本とベトナムの文化について観光地、漫画文化、隠れ名所、テーブルマナーといった 4 つのテーマから交流する機会がありました。毎回のセッションでは明治大学と現地学生がどちらもプレゼンを用意し、ディスカッションもするため、お互いに理解を深めることができます。特に相手校の学生がしっかり準備してくれたため、インターネットやガイドブックでは知りえないことまで知ることができました。また、オンラインでタイムラグもありましたが、チームごとに分かれてゲームをして遊ぶ時間や、ダンスや歌などを楽しむ時間もありました。オンラインでも思った以上に交流できたため、現地に訪問できていたらさらに交流機会は多かったのではないかと思います。

オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250~300 字程度)

少しずれた回答になってしまいますが、オンラインだったからこそ他キャンパス・高学年でも参加することができました。低学年の頃から他キャンパス主催のプログラムを検討していましたが、授業兼ね合いで事前・事後学習の参加が難しく見送っていたので今回はある意味絶好の機会でした。他のメリットとしては画面に顔が映るため現地学生の顔を多く覚えられること、チャットのおかげで発言しやすいこと、自分の予定も入れられることがあると思います。ただ自分の予定を入れられるというのは多くの課題が出るこのプログラムでデメリットにもなります。インターネットの環境が悪いと不便なこと、現地で体験ができないことはやはりオンライン特有のデメリットになると思います。

今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)

今後の目標としては、やはり実際にベトナムに訪問することです。私は今回のプログラムで「知識」を得ることを目標としており、社会人になってから体験や訪問はできても、このように深くベトナムの社会について学ぶ機会はほとんどないと考えています。今回のプログラムを通して目標の「知識」を得ることができたため、次は「体験」が私の目標になります。本プログラムで久しく英語を使ったのですが、日を増すごとに英語を話す感覚がつかめて自信になったため、現在の状況が落ち着き次第、現地学生や先生との交流や今回得た知識を実際に訪問してより深めたいと思います。

【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします(学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません)。

明治大学 2021 年度【夏期】国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)

このプログラムに参加する前は、ベトナムを含めアジアについて表面的な知識しかありませんでした。しかし、ベトナムの経済、社会、歴史、文化などの授業を 2 週間にわたって受けたので、ベトナムについて多くのことを学ぶことができました。さらに、同じアジアですが、日本とこんなにも違うのかと驚かされることばかりで、授業を受けるのが楽しかったです。また、グローバルゼッションを扱った授業では、そのいい点、悪い点を考え、参加者の学生それぞれの意見を聞くことができ、自分と違う見方をする人もいて面白かったです。

バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)

日本人同士でもそうですが、自分から積極的に話しかけに行かないと何も始まらないなど改めて実感しました。チームに分かれて、ディスカッションをする機会が毎回あったのですが、ベトナムの学生が話を振っていくスタイルだったので、自分からは話しかける勇気やタイミングがなく、受け身になってしまいました。でも、同じグループにいた明治の学生は思ったことを自分から発言していたので、すごいなと思いました。それに感化されて、私もチームで話したことを全体で発表する機会があったので、その時に自分で手を挙げて発表することができました。英語でコミュニケーションをとるのは難しいですが、積極的にいけば何とかなってしまうものだなと思いました。この経験を次の留学などにも生かしたいです。

オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250~300 字程度)

メリットは日本でのアルバイトなどの日常生活を崩さずに気軽に留学できる点と、費用を安く抑えながら、英語を勉強できる点です。Zoom で行うため目の疲れはすごいですが、留学先での生活に慣れるかどうかの心配は一切ありません。ですので、気軽に英語を勉強したい、国際交流したい人にはお勧めだと思います。デメリットとしては、積極的に話しかけようとしても、zoom では一人しか発言できないので、話すタイミングを見失うとずっと会話に参加できないという状況になってしまう点です。また、画面は小さいので、ジェスチャーで物事を伝えようと思っても伝わりづらいです。

今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)

プログラム参加前の展望は、アジアについてもっといろいろなことを知って、そこで起こっている問題に対して自分ができるところを行動に移していきたいというものでした。ですが、プログラムに参加してみて、私はアジア、特に東南アジアの国々について知る以前に、日本について知らないことが多いなど実感しました。特に、日本の今の経済や文化などです。だから、これからはまず、自分の国についてもっとよく知り、日本で起こっている問題について何かアプローチできないか考えようと思いました。また、グローバル化しつつあるベトナムの今の状況は、日本のと重なる部分もあり、同じような問題が起こっているの、日本の問題へのアプローチは何年後のベトナムで起こりうる問題の対処法になるのではないのかと思います。

【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします(学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません)。